

掲げて、環境保全、資源循環、脱化石燃料という社会課題の解決に尽力してきました。ダイセキでは製造業のお客様が排出する産業廃棄物を燃やさずにリサイクルすることでお客様の温室効果ガス排出量の削減に貢献しています。また天然資源や化石燃料の代替として利用できるリサイクル製品を製造販売することで、製造業のお客様のサプライヤーチェーンとしての温室効果ガス排出量の削減にも貢献しています。さらに 2022 年 11 月には自社の温室効果ガス排出量削減目標を設定し SBTi による認定も取得しました。これからもダイセキは自社及びお客様のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進していきます。

今後の見通し

今回、CDP 気候変動の「Aリスト企業」に選定されたことによる 2024 年 2 月期連結業績への影響はありませんが、未来の環境のために、気候変動問題への取組に対し、ダイセキグループ全体で、さらなる強化に取り組んでまいります。その結果、中長期的にダイセキグループの企業価値が高まり、投資家の皆様に、より多くの還元ができると考えております。

CDP CEO/シェリー・マデーラ

「環境情報の透明性の向上に一步を踏み出し、それを加速させ、2023 年の A リストに選定された企業の皆様、おめでとうございます。素晴らしいことに、2023 年の回答企業数は 24%増加しました。企業は情報開示の土台を築くことによるのみ、ネットゼロでネイチャーポジティブな未来の実現のために真剣に取り組んでいることを示すことができるのです。A リストに選定されることはスコア以上の価値があります。それは、企業が環境への影響を総合的に把握していること、移行計画のベースラインを示していること、そして極めて重要なこととして、企業がその野心を実現することができるような、高品質で完全なデータを有していることを示しているのです。「行動の 10 年」が進展し、CDP が環境リーダーシップの水準を高め続ける中、A リスト企業の活動に決して終わりはありません。私たちは、すべての企業が自らのコミットメントを、より有意義で効果的なアクションに移していくことを期待しています。」

CDP2023 の A リスト企業のリストは、以下のリンクからアクセスできます。

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>



以上

ダイセキについて

ダイセキグループは、株式会社ダイセキ及び連結子会社8社（北陸ダイセキ株式会社、株式会社ダイセキ環境ソリューション、株式会社ダイセキMCR、システム機工株式会社、株式会社グリーンアローズ中部、株式会社グリーンアローズ九州、株式会社杉本商事、有限会社杉本紙業）で構成されており、産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬・中間処理、土壌汚染調査・処理、使用済みバッテリーの収集運搬・再生利用、鉛の精錬及び非鉄金属原料の販売、タンク洗浄およびタンクに付帯する工事、VOCガスの回収作業、スラッジ減量化作業、COW洗浄機器販売、石油化学製品・商品の製造販売を主な事業の内容としています。

CDPについて

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取組みを先導してきました。現在では136 兆米ドル以上の資産を保有する740を超える署名金融機関と協働しています。2023年には、世界の時価総額の3分の2に相当する23,000社以上、そして1,100以上の自治体を含む、世界中の24,000を超える組織が CDP の質問書を通じて環境情報を開示しました。CDPはTCFDに完全に準拠した質問書に基づく世界最大の環境データベースを有し、CDPスコアはネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために投資や調達的意思決定に広く活用されています。CDP は、科学に基づく目標設定イニシアチブ (SBTi)、We Mean Business 連合、The Investor Agenda (機関投資家の気候変動対策推進イニシアチブ)、NZAMI (ネットゼロ・アセットマネージャーズ・イニシアチブ: Net Zero Asset Managers Initiative) の創設メンバーです。詳しくは www.cdp.net にアクセス、もしくは@CDP のX (旧Twitter) のフォローをお願いします。